

平成19年度事業報告

(第 7 期)

平成19年4月 1日から

平成20年3月31日まで

財団法人きょうと京北ふるさと公社

第7期目である平成19年度は過去6期の実績をふまえ、設立目的である優良農地の保全や美しい農山村景観の維持、都市住民と農山村の交流活動の推進、中高齢者を中心とした働く場の提供など、ふるさと京北の活性化のための活動と合わせ、ふるさと公社の安定経営に向け幅広い事業を展開するため、職員体制を強化し運営に取り組んできました。

なお、京都市との合併後3年を経過した今日、地域住民などから地域の担い手としてのふるさと公社への期待が大きく、このことは各事業の取り扱い実績に現れた一年となりました。

I 理事会・評議員会の開催

《 理事会 》

第1回理事会 平成19年5月29日

- 1 平成18年度事業報告及び会計決算承認の件
- 2 中期計画策定の件
- 3 平成19年度補正予算（第1号）承認の件

第2回理事会 平成19年7月19日

- 1 評議員選出の件

第3回理事会 平成20年3月25日

- 1 平成19年度補正予算（第2号）の件
- 2 内部留保金の運用の件
- 3 平成20年度事業計画及び会計予算認定の件
- 4 平成20年度役員報酬等の限度額の件

《 評議員会 》

第1回評議員会 平成19年5月29日

- 1 平成18年度事業報告及び会計決算同意の件
- 2 中期経営計画の件
- 3 平成19年度補正予算（第1号）同意の件

第2回評議員会 平成19年7月19日

- 1 役員選任の件

第3回評議員会 平成20年3月25日

- 1 平成19年度補正予算（第2号）同意の件
- 2 内部留保金の運用の件
- 3 平成20年度事業計画及び会計予算承認の件
- 4 平成20年度役員報酬等の限度額の件

Ⅱ 本年度主要事業の概要

《 公益事業 》

1. 農地保有合理化事業

優良農地の保全を基本に、農地の貸付け希望、借受け希望の斡旋を中心に取り組み、年間を通じ9件の相談を受け付けました。

2. 農作業受託事業

農業者の高齢化に対応するため、農作業受託部会による耕起、代かき、田植え、稲刈り、除草等の作業受託と転作田の管理受託に取り組みました。

[受託部会による取り扱い実績]

○春作業（依頼者 90人）

耕起作業	51件	1, 118. 05a
代かき作業	54件	1, 201. 55a
田植え作業	68件	1, 533. 30a
畦付け作業	18件	3, 055. 50m

○秋作業（依頼者 63人）

隅刈り作業	16件	26枚
刈取り作業	63件	1, 311. 69a
籾運搬作業	43件	45, 916. 90kg
耕起作業	32件	656. 10a
乾燥作業	6件	4, 751. 00kg

肥料散布

10件

219.20kg

3. 都市と農山村交流事業

都市住民との交流による地域活性化を目指し、各種イベントの開催により都市住民を京北地域に呼び込むとともに、他地域でのイベントに積極的に参加し京北地域のPR活動を行いました。

4. 公共施設管理事業

① 林産物需要拡大センター「ウッディー京北」管理受託事業

文化の香り高い木と清流の里京北の情報発信基地としての役割とともに、林産物、木材加工品ならびに地域特産品の需要拡大に取り組んできました。

昨年7月の周山バイパスの開通に伴い入館者も増加、木材加工品、特産品、農産物、喫茶利用とも昨年度を上回る結果となりました。

しかしながら施設の収支状況については改善が必要なため、平成19年11月に中小企業経営診断士による経営指導を受け、改善策について検討を行い、平成20年度から具体的な改善策を講じます。

○ ウッディー京北入館者数

149,615人（平成18年度 112,328人）

○ ウッディー京北売上高

42,083千円（平成18年度 37,588千円）

② 宇津峡公園管理受託事業

コテージ、キャンプ場等、京阪神を中心に家族連れや学校関係者の利用が多くあり都市住民との交流施設として、平成10年の開園来最高の入園者を記録しました。なお、冬期の入園者の確保が課題となっています。

○ 宇津峡公園入園者数

52,160人（平成18年度 52,040人）

○ 宇津峡公園利用料金

18,056千円（平成18年度 17,234千円）

○ 宇津峡公園10周年イベント（平成19年9月23日開催）

5. ふるさと振興等調査研究事業

昨年度に引き続き、国の補助事業である「農村コミュニティー再生・活性化支援事業」に取り組みました。

結果、当初計画を上回る事業量を確保することができ、地域の担い手組織として、雇用促進に一定の成果を上げることが出来ました。

- 登録者数 290人 (60歳以上157人・60歳未満133人)
- 受託件数 643件 (平成18年度 630件)
- 作業延べ人数 4,262人 (平成18年度 4,128人)
- 受託金額 47,046千円 (平成18年度 48,672千円)

8. 京北ふるさとバス事業

京都市との合併以後、道路運送法に基づく過疎地有償運送事業として京都市との連携のもと、地域の運送事業として安全運行を基本に京北地域の生活交通確保のため取り組み、関係者各位のご指導ご協力のおかげもあって交通事故もなく順調に運行することが出来ました。

《 収益事業 》

公益法人として事業活動に一定の制約がある中、公益事業を補完し、ふるさと公社の安定経営に向けた財務基盤を確立するため、収益事業に取り組みました。

1. 葬祭関連事業

高齢化が一層進行する状況の中、京北地域の現状に鑑み、文化、風習と今日の生活実態との調和の取れた厳粛な中にも、簡素な葬儀が執り行われるよう対応してきました。

年間の利用件数は昨年度と同数の38件となり、京北地域の葬儀件数の約40%となっています。

2. コスモスパーク運営管理事業

通称「コスモスパーク」で開催されるモータースポーツを通じ、地域の活性化のため取り組んできました。

なお、平成20年度からは地元の要望により、管理委託契約を継続しないこととなりました。

3. スクールバス受託事業

京都市との合併以後、京北地域児童生徒の通学および教育活動のため、京都市教育委員会からの受託事業として取り組んできました。

平成20年度からは、委託契約内容の見直しがされることとなっており、一層の安全運転に心がけ対応していきます。